

(株)藤里開発公社の経営状況について

株式会社藤里開発公社の経営状況について、6月議会定例会で報告したので公表いたします。

平成27年度藤里開発公社部門別損益計算書 (H27.4～H28.3)

(単位：千円)

科 目	ホテル	健康保養館	加工センター	白神山水 生産販売	本 部	合 計
売 上	75,897	32,308	28,441	102,138	0	238,783
加工手数料	0	0	2,483	0	0	2,483
売 上 計	75,897	32,308	30,924	102,138	0	241,266
期首在庫	1,733	482	9,886	4,769	0	16,870
当期仕入	31,473	9,180	12,716	28,506	0	81,875
期末在庫	1,709	509	6,425	6,233	0	14,876
売上原価	31,497	9,153	16,177	27,042	0	83,869
売上総利益	44,400	23,155	14,747	75,096	0	157,397
一般管理費	110,598	42,364	26,483	61,699	17,504	258,648
営業利益	△ 66,198	△ 19,209	△ 11,736	13,397	△ 17,504	△ 101,251
営業外収入	72,322	18,012	8,189	15,755	10	114,288
営業外費用	7,814	0	2,478	2,299	0	12,591
経常利益	△ 1,690	△ 1,197	△ 6,025	26,853	△ 17,494	446
特別損益	0	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	△ 1,690	△ 1,197	△ 6,025	26,853	△ 17,494	446
法人税等	0	0	0	0	300	300
当期純利益	△ 1,690	△ 1,197	△ 6,025	26,853	△ 17,794	146

※6月議会定例会で報告した資料を編集して作成しています。

●ホテル（売上高75,897千円、前年度比93.4%、5,322千円減）

白神観光のキャンセル事情（宿泊費だけで約3,207千円）や、昨年度あった婚礼がなかったことから厳しい状況が続きました。近隣のお客様への利用のお願いや、各種スポーツ関係者に宿泊PRに努め、利用人数は昨年を上回りました。しかし、中学・高校体育連盟協定料金等があり、売上げは前年比5,322千円の減となりました。なお、極力仕入れ関係を抑えた結果、粗利益は961千円減となりました。

●健康保養館（売上高32,308千円、前年度比101.1%、355千円増）

平成26年8月に設置したエコマイザーやLED蛍光灯への交換により、光熱水費の削減に大きな効果がありました。灯油の消費量は、エコマイザー設置前に比べて18,000ℓの減少となり、灯油価格の下落とともに6,295千円減と大幅な燃料費削減となりました。また、入館者数は昨年よりも減少しましたが、売店・軽食コーナーのメニュー改善を行い、売上げ増となっております。

●加工センター（売上高30,924千円、前年度比80.7%、7,413千円減）

昨年度の反省を踏まえ、仕入れ・販売品の品質と原価計算を重点的に行い、結果売上げ減となりました。8月に実施した白神和牛のCAS冷凍品販売は即完売し、白神ラムもホテルでの消費増加や業者から取引のコンタクトが増えております。今後も商品の販売計画を立て、仕入れと売上げのバランスを考え粗利率の増に努めてまいります。

●白神山水生産販売（売上高102,138千円、前年度比105.6%、5,418千円増）

平成27年度は、(株)アルピオンのプライベートブランド受注やJRWB社などの受注が好調に続き、売上げ増となりました。また、テレビ番組で白神の水が取り上げられ、さまざまな波及効果が現れました。4月からラジオ放送FM秋田で、毎週土曜日12時55分から5分間、白神山水を主としながら藤里町の特産品とイベントなどを紹介しております。